

優秀賞

はじめて、ふたりで

福井県 福井市社南小学校一年 梅田 楓花

わたしは、はずかしがりやでひとりでいるとドキドキしてしまいます。とぎとぎママにおみせへ、「ふうちゃん、これかっきて。」
と、いわれてもはずかしくていけません。ほんとは、ひとりでいきたいけど、ママがついてきてくれないといけません。

わたしには、さんさいになったばかりのおとうとがいます。なまえは、りくとです。おみせにくくと、たあーとはしつていきます。おみせやさんにもはなしかけます。ぜんぜんはずかしくなさそうです。

ママがつくったほつとけーきを、おじいちゃんおばあちゃんのおうちにとどけることになりました。ママが、

「ふうちゃん、ひとりでもっていけるかな。」

と、いいました。わたしは、

「ひとりじゃいけないもん。」

と、いいました。こわいからです。でもママが、

「ふうちゃんがもっていくと、よろこぶよ。」

といったのでいってみようかなとおもいました。

だけど、ひとりだとこわいのでひるねしていたり

くとをさそいました。りくとは、すべにおおせし、

「りくともいく。」

とげんきにいました。わたしは、きゅうにうれしくなつてわくわくしてきました。

ほつとけーきとすいとんをもっておじいちゃんおばあちゃんちにむかいました。りくとのてをつないでみぎがわがあるきました。しんぞうが、どきどきしました。でもがんばるぞうとおもいました。りくとは、ここにこしていました。すこしあ

るくとりくとが、

「おちやのみたい。」

と、いいました。わたしは、

「もうちょっといった、はしのところまでがまんして。」

と、いいました。くるまがきてあぶないからです。はしのうえでおちやをのみました。そうしたら、りくとが、

「すいとんもって。」

と、いいました。わたしは、にもつがふたつになつておもかったです。りくとは、おりこうにしています。もうすぐでつくところじいちゃんがつていきました。りくとがいちゃんにはしみてあんしんしてなみだがそうになりました。じいちゃんが、

「よくがんばつてこれたね。」

と、いってりくとをだっこしてわたしとをつなぎました。みんなでおみやげのほつとけーきをたべました。いつもよりもおいしかったです。あとからきいてみるとママがしんぱいでついてきていたそうです。こんどは、りくととふたりだけでおつかいをしたいとおもいます。

